



## 夜更かしを愛する人たちのタイマーアラーム Ver1.46

### TimerA 取扱説明書

使用している画像で一部古いバージョンのものがああります。本文の説明に支障なければそのまま差し替えずにいます。ご了承ください。

## 使用する状況と目的

### 日付変更は寝てる時間に！

夜型人間はいつも日記の日付に悩やみます。午前0時は翌日の0時とするより、当日の24時と考えたほうが都合がよいことが多々あります。深夜テレビの放送時間でも「毎週土曜日の深夜2時放送」では土曜日の午前2時なのか、それとも翌日の日曜日の午前2時なのか迷います。

TimerAでは一日の開始時刻のオプションをつけることにしました。デフォルトでは一日の開始時刻は午前5時になっています。この場合、一日は5時～28時59分までを刻むことになります。これで大抵の人は寝るときまではずっと当日で、寝てる間に日付が変わり、起きたときには翌日になります。この考え方がデジタル時計表示だけでなく、アラーム(イベント)の時刻設定でも反映しています。「土曜日の26時」とセットすることで世間一般の「日曜日の午前2時」と解釈されます。その日、寝るまでが当日にしておきたい人のデジタル時計とタイマーアラームです。

### 遊んでいる古いパソコンの有効活用

我が家には古いパソコンが何台かあります。最近では破棄するにもお金がかかる。持っていて、すでにてきばきと動くパソコンを持っていると古いパソコンでワープロや表計算、画像処理などのソフトを動かす気にはなれません。精神衛生上とっても悪いです。精神衛生上そんなに悪くならないソフトもあります。パソコンにべったりとくっついて作業を行わないソフトです。タイマーアラームソフトはその典型です。

タイマーアラームのオペレータ操作は「マウスのクリックをちよいちよい！」と1行程度の「タイトルやメッセージを入力」するくらいでパソコンからの応答が多少遅くてもいらつくことはそれほどないはずですか(？)。これで「好きなテレビ番組を見過ごした」「待ち合わせをすっぽかした」「電話するの忘れてた」「ラーメン台無し！」などの失敗を防げます。

古いパソコンでも時計は機能します。1～2世代前ぐらいのパソコンでしたら音は出るでしょう。MP3の再生ができるのも結構あります。これでLANが使えるインターネットに繋がればTimerAを動かすパソコンの性能としては文句無しです。

## TimerAの機能・特徴

### 拡張24時間制デジタル時計

#### 深夜の時刻を前日の、24時、25時・・・と表示

一日の開始時刻の設定はオプション設定で0時～10時の間で任意に指定できます。一日の開始時刻を0時としたときは通常の「24時間制デジタル時計」となります。

#### 【ちよつと言】

世間一般の午前0時を基準にした24時間制表示に対して、一日の開始時刻をずらした24時間制表示方法を「拡張24時間制」と称しています。

#### タスクバーに日付と時刻を表示

少し大きめに作られたメイン画面ですがコンパクトサイズ、ミニサイズの表示を切り替えられます。また最小化すればタスクバーにはアラーム付き「拡張24時間制デジタル時計」が残ります。

### 柔軟性に優れた高機能のアラーム

#### アラームの設定個数を50個

これくらいあればほとんどの状況で充分でしょうという数を用意しました。設定全体の有効無効のスイッチを用意していますので、今は使わなくても事前に設定内容を準備しておくことができます。

### ひとつのアラーム設定に独立した本鈴・予鈴を用意

設定には「本鈴」と「予鈴」を独立して個々のアラーム(イベント)を指定することができます。予鈴は、本鈴の何分前というやり方で行います。本鈴が変更されれば予鈴もおのずから変化します。予鈴無しももちろん可能です。

### 多彩な設定モード

アラームの当日を決めることを設定モードと称しています。アラームの設定モードには「毎日」「毎週」「毎月/月末」「特定日」があります。第三土曜日といった設定も、特定日から何日おきに繰り返すも可能です。予定が変更になり「この日だけはいいや!」の場合は「この日はお休み機能」が便利に使えます。

### アラームの時刻設定でも拡張24時間制採用

デジタル時計と同様に、24時、25時・・・といった設定がそのまま可能です。深夜の設定時に頭の中で換算する必要はありません。また、何時何分と指定せずに今から30分後といった設定方法も備えています。

指定された時刻から「何分おきに何回実行する」かを指定できる機能を持っています。これを応用すれば時報になります。また、大事な用件を1分おきに10回サウンドを繰り返すといったこともでき、目覚ましとしても使えます。

### 多彩なイベントの組み合わせが自由自在

一般的な呼称であるアラームのことをTimerAではイベントと称しています。アラームには「音」という概念が強くなるので音にならないプログラム起動、画面表示などを含めイベントと称します。

イベントには「サウンド(Wave/Midi)」、「確認メッセージ」、「プログラムの起動」、「メールの送信」と内部操作の「道具箱」があります。これらのイベントは本鈴予鈴独立して自由に組み合わせが可能です。本鈴ではサウンドとメールの送信を行うが、予鈴ではメッセージの表示だけを行うといったことが可能です。

サウンドの再生はWave/MIDIのみを自力で行います。任意のプログラム起動ができますので、環境が整っていればMP3や動画の再生も可能です。

メールを送信することによりパソコンから離れた人にもイベントメッセージが届きます。携帯メールを使っている人には便利かと思えます。

道具箱はTimerA内部コマンドにあたる便利ツールです。タイマーで他のタイマーの設定をオンオフしたり、キッチンタイマーの始動などを行うことができます。

確認メッセージはモニタにメッセージを表示しますが、ユーザの確認まで表示を残す設定と、ある一定時間(オプションで指定)が経過すると自動的に消す設定があります。パソコンの画面がメッセージでいっぱいになるのを防ぎます。

### 隣接コンピュータへのイベント送信

イベントをLANで接続された隣接コンピュータへ送信できます。LANで接続された他のコンピュータで動いているTimerAからのメッセージやサウンド信号を受け取り手元のコンピュータで表示、実行させることができます。

手元のコンピュータではAlarmAcc(アラーム受信設備)を動作させておく必要があります。

TimerA Ver1.46からはDocLaunCS(ドキュメント・ランチャー)への通知も可能になりました。

DocLaunCSにつきましては下記のWebページを参照してください。

<http://homepage1.nifty.com/yaneurazikken/>

### 大きめに作られたメイン画面の可視性と操作性のよさ

#### 大きく表示される日付とデジタル時計

日付とデジタル時計部は一般的な他のソフトに比べ大きく表示されます。可視性、操作性に優れた通常サイズですが、サイズを小さくしたい場合はミニサイズ/コンパクトサイズへの切り替えが用意されています。それぞれ[F2][F3]キーで簡単に切り替えが可能です。

#### 「アラーム実行予定表」と「アラーム設定一覧表」

「アラーム実行予定表」は間じかに迫った順にイベント実行予定を表示しています。これはイベント実行以前に予定が近づきつつあることを知らせてくれます。

「アラーム設定一覧表」は常時表示されていることで予定変更、追加などの操作を簡便にします。

### 一番間じかに迫った予定のカウントダウン表示

常にアラームのカウントダウンを表示しています。設定によってはタイトルバー、タスクバーにも表示します。

### 3個のキッチンタイマーを用意

日時を指定してイベントを発生させるアラームとは別に、今からを基準に何分後にイベントを発生するキッチン・タイマーを3個備えています。タイマー時間は直接打ち込みのほかにあらかじめ約20個ほど登録しておくことができます。

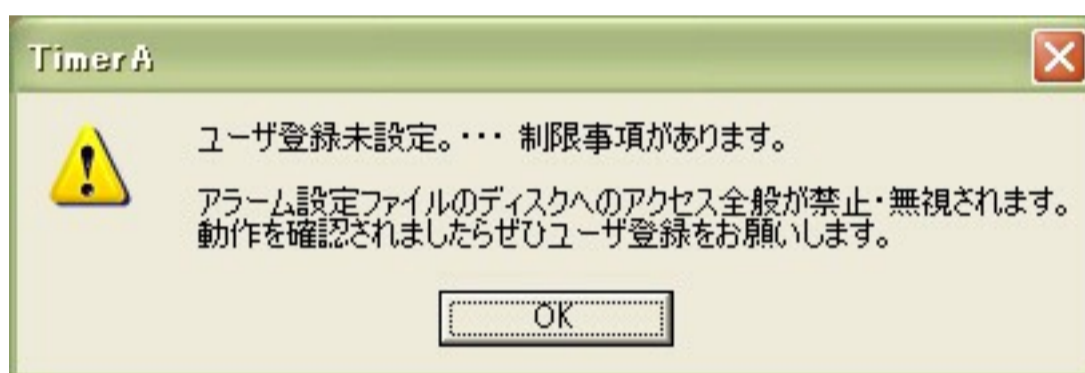
「台所標準タイマー」は最もシンプルなキッチンタイマーです。ラーメン3分タイマーなどで気楽に使えます。

「本鈴イベントタイマー」「予鈴イベントタイマー」は50個あるアラーム設定の1つをキッチンタイマー用にリザーブし、そのイベントを実行するものです。通常のアラームと同様に多彩なイベントの組み合わせが可能です。

3個のキッチンタイマーの同時走行も可能です。

## アラーム操作画面の説明

### ユーザ登録未設定ダイアログ



ユーザ登録がなされていないとき、TimerAを起動すると、上図のような制限事項がある旨のダイアログが表示されます。ユーザ登録が完了しますとこのダイアログは表示されなくなります。「ユーザ登録未設定ダイアログ」をOKで抜けると本体画面が表示されます。

### 本体画面

上段にはデジタル時計とメッセージ表示部が配置され、下段にはタブ切り替え式で「アラーム実行予定表」と「アラーム設定一覧表」が表示されます。

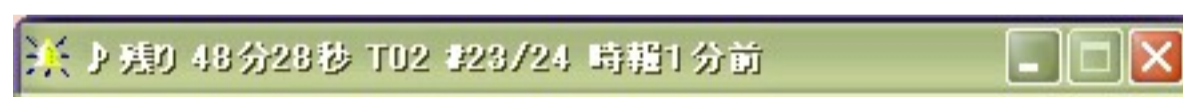
本体画面は、通常表示のほかにタイトルバーのみを表示するミニサイズと上段部のみを表示するコンパクトサイズ表示があり、それぞれ[F2]と[F3]キーで切り替え可能になっています。



通常サイズ表示



コンパクトサイズ



ミニサイズ

「アラーム設定一覧表(下図手前)」は設定したアラームの生データを一覧表で見せているものです。アラームの設定数が50個なので50行の表になります。最初の起動時はまだアラーム設定はなにもしていないので、ただ50個の未設定項目が並んでいるだけです。

「アラーム実行予定表(下図奥)」とはアラーム設定のデータから作られるもので、結局のところ何日の何時にアラームを発動するのかを間じかに迫った順に表示するものです。最初の起動時はまだアラーム設定はなにもしていないので、「アラーム実行予定表」にはなにもし表示されません。

アラーム実行予定表 | アラーム設定一覧表

一般24時間表示(00:00-23:59) 本鈴&予鈴

No	実行年月日	時刻	Event	タイトル名
アラーム実行予定表   アラーム設定一覧表				
アラーム設定一覧表 [●:有効 ...:無効] <input type="button" value="コピー"/> 0 <input type="button" value="貼付"/>				
No	時刻	分毎#回	有無/Event	タイトル名
01	00:00	...	... _____	キッチンタイマー用リザーブ
02	00:00	...	... _____	
03	00:00	...	... _____	
04	00:00	...	... _____	
05	00:00	...	... _____	
06	00:00	...	... _____	
07	00:00	...	... _____	
08	00:00	...	... _____	
09	00:00	...	... _____	
10	00:00	...	... _____	
11	00:00	...	... _____	
12	00:00	...	... _____	
13	00:00	...	... _____	

#### オプション画面

オプション画面はメニューバーより「設定」-「オプション」で開くことができます。すでにデフォルト値が設定されています。

オプション

■表示に関するオプション

一日の開始時刻  時 (要再起動)

アラーム実行予定初期表示は拡張モードを使う

起動時のウィンドウは最小化  タイトルバーは常に時計表示

■アラームデフォルト値オプション

★アラーム設定ファイルパス名  アラーム設定の変更を反映する

★アラームサウンド用デフォルトファイル名(パス名)

本鈴用

予鈴用

★アラームメッセージ表示時間(秒) 10秒以上

本鈴用  予鈴用

■アラームメールオプション

ポイメールを使用する (※常時接続環境が前提です)

ポイメールインストールフォルダ (最後は#で締める)

■キッチンタイマー オプション

★台所標準メッセージ表示時間(秒) 10秒以上

★同上サウンド

★キッチン・アラーム用にリザーブされた アラーム設定番号

★タイマ用時間 登録書式: mm.ss(半角文字) 区切り文字: /

■その他  NEC製 Windows98を使用

#### 表示に関するオプション

##### 「一日の開始時刻」

日付変更の時刻で、デジタル時計の表示を24時、25時と表示するための指定情報です。

##### 「アラーム実行予定初期表示は拡張モードを使う」

メイン画面のアラーム実行予定表の日時の初期表示を拡張24時間表示にするか、一般24時間制で表示するかの切り替えスイッチです。

##### 「起動時のウィンドウは最小化」

起動直後最小化になります。スタートアップに登録して起動した場合に便利な場合があります。

##### 「タイトルバーは時計表示」

タイトルバーの表示内容を切り替えます。アラームのカウントダウン表示、もしくはとデジタル時計(拡張24時間)表示になります。

#### アラームデフォルト値オプション

##### 「アラーム設定ファイルパス名」

50個のアラーム設定を保存するファイルで、任意のフォルダにおくことができます。また複数のTimerAを1つのアラーム設定ファイル共有させることも可能ですが、書き込みができるのは1つのみとしてください。これを指定するのが「アラーム設定の変更を反映する」のチェックです。チェックありは1台のみにしてください。

##### 「アラーム音用デフォルトファイル名」

各アラーム設定で音は鳴らすけどサウンドファイル名が指定されていないときここで指定されたファイルを鳴らします。

WAV又はMIDのファイルを指定します。

#### 「アラームメッセージ表示時間」

各アラーム設定でアラームメッセージを自動的に消すとしたときのメッセージの表示時間の秒数を指定します。

#### アラームメールオプション

##### 「ポイメールを使用する」

メール送信補助ツールであるPoimail.exe(ポイメール)に関するオプションです。アラームメールを行うには「ポイメールを使用する」のチェックをいれます。動作はインターネット常時接続の環境を前提としています。

##### 「ポイメールインストールフォルダ」

Poimail.exeのインストール先とTimerA.exeのインストール先とを別にすることがあります。ポイメールのインストール先を変更した場合は「参照」ボタンで「ポイメールインストールフォルダ」を書換えます。

#### キッチンタイマーオプション

アラーム用のイベント設定をリザーブしてキッチンタイマーで使用することができます。「キッチンアラーム用・・・設定番号」にはリザーブする設定番号を指定します。

「タイマー用時間」はキッチンタイマーでよく使用する時間を登録できます。登録枠は単なる文字列です。登録書式は分秒を半角でmm.ssの形式で登録します。スラッシュ(/)で区切り続けて記述できます。見やすくするためにスラッシュの前後にスペースを入れてもかまいません。ただし記述する文字列は127文字までという制限があります。切り詰めれば20個ほど登録できます。

#### その他

「NEC製Windows98を使用」は内部処理の都合でNECの古いパソコン(NEC独自仕様のパソコン)のみ別処理にしたものです。購入時のOSがWindows95のNECパソコンが該当するかと推測されます。該当するパソコンのみチェックを入れてください。

#### ツール設定

ツール設定画面はメニューバーより「設定」-「ツール設定」で開くことができます。



記載しされてるソフトパス名は例です。

#### シャットダウンツール

TimerAにはシャットダウン機能は組み込まれていませんが、外部ツールとしてシャットダウンソフトを用意すれば可能になります(Ver1.36以降)。ツール設定画面の「シャットダウンツール」には手持ちのツールのパス名を指定します。

通常シャットダウンツールには何秒後にシャットダウンとか、シャットダウンではなく再起動、ログオフなどの指定が出来ます。必要ならば指定のパラメータを記述します。動作可能なシャットダウンのオンラインソフトは幾つかありますがhir氏作のshutdown2を推薦します。shutdown2は以下からダウンロードが可能です。

<http://takesvb6.ld.infoseek.co.jp/>

#### 時刻アラームの設定の登録

No	時刻	分毎#回	有無/Event	タイトル名
01	00:00	...	...	_____
02	00:00	...	...	_____
03	00:00	...	...	_____
04	00:00	...	...	_____
05	00:00	...	...	_____
06	00:00	...	...	_____
07	00:00	...	...	_____
08	00:00	...	...	_____
09	00:00	...	...	_____
10	00:00	...	...	_____
11	00:00	...	...	_____
12	00:00	...	...	_____
13	00:00	...	...	_____

### 「アラームの設定」ダイアログを開く

アラームの設定の登録は本体画面の「アラーム設定一覧表」から行います。設定番号 (No) は 01 ~ 50 まであります。この中で「有無」が無効 (...) になっている番号を 1 つ選びダブルクリックします。要するに使用していない設定番号をダブルクリックするという事です。これで「アラームの設定」ダイアログが開きます。

ただし、デフォルトでは設定番号 01 はキッチンタイマー用にリザーブされた特別なものになっています。通常のアラーム設定では 01 は避けるようにしてください。詳細はキッチンタイマーの項目を参照してください。

### アラーム設定一覧表にある「コピー」「貼付」ボタンの使い方は？

アラーム設定を行うとき、すでに設定済みの内容を複写して、その後部分修正を行うと楽になる場合が多々あります。「コピー」「貼付」ボタンはアラーム設定の複写を簡単に行うためのボタンです。使い方は似てますがウィンドウズ標準のコピー・貼り付けとは別物です。例えば、設定 No「5」の設定内容を設定 No「6」へ複写する場合は以下のように操作します。

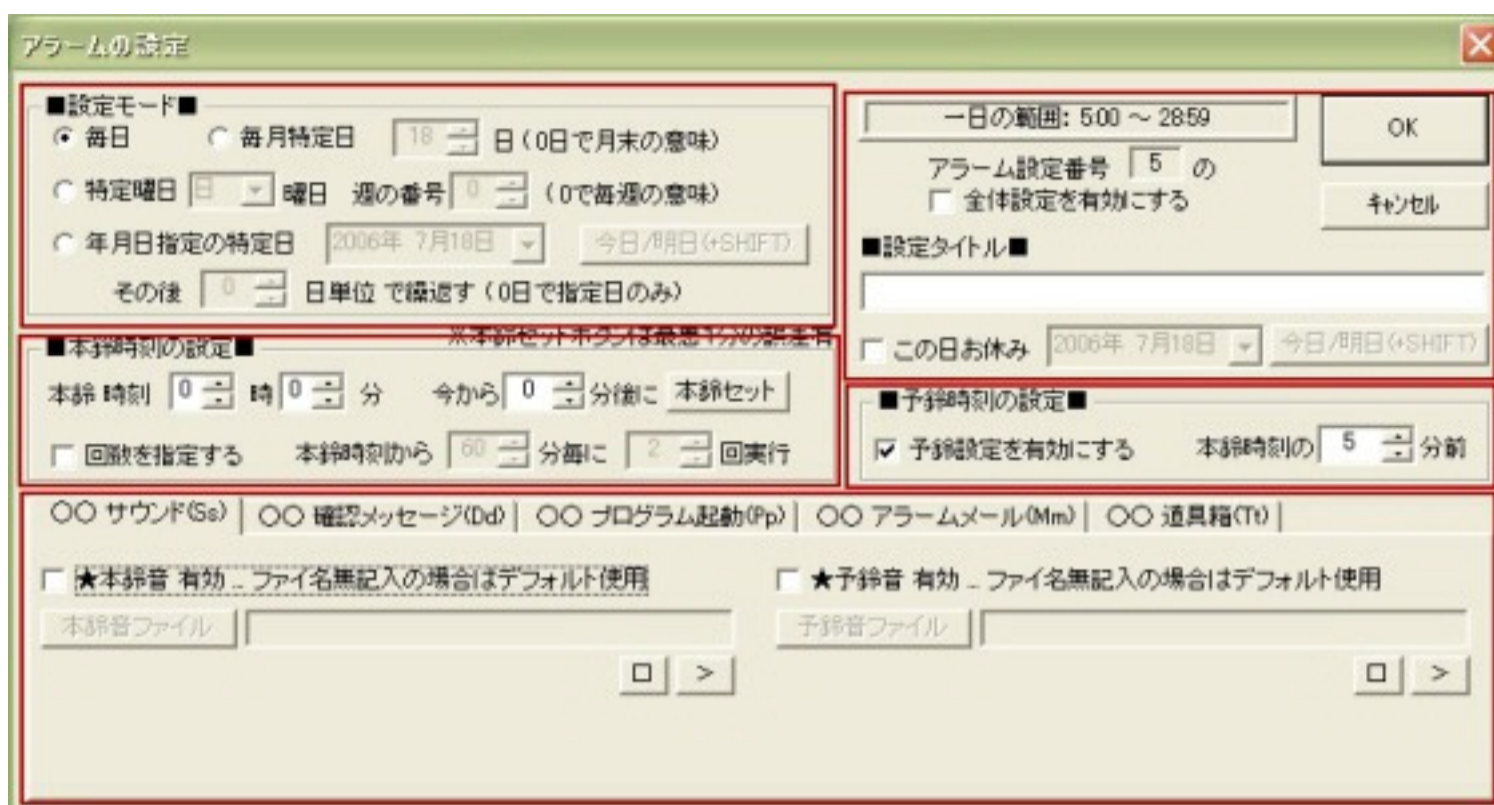
1. 設定 No「5」をクリックして反転させる。
2. 「コピー」ボタンをクリック。... ボタンの間の窓枠に 5 が表示される。このときボタンの間の窓枠に直接半角数字で「5」とキー入力しても結果は同じです。
3. 設定 No「6」をクリックして反転させる。
4. 「貼付」ボタンをクリック。... 「5」と同一内容が「6」に複写される。

ただし有効無効フラグはだけは「無効」になります。

この例で、設定 No「5」の設定内容がクリア (タイトル名やイベントなどが何も設定されていない) のときは貼り付け先もクリアになりますので複数の設定をクリアしたい場合は次々に貼り付けることで「アラーム設定」画面を表示することなく簡単に設定を無効かつクリア状態にすることができます。

### 「アラームの設定」ダイアログ





「アラーム設定一覧表」で 05 をダブルクリックすると左図のような「アラームの設定」ダイアログが開きます。画面レイアウトの概略は以下のとおりです。

上段右

タイトルなど全体的な設定です。

上段左

設定モードでアラームの「日」を決める部分です。

中段左

本鈴時刻を決めます。

中段右

予鈴時刻を決めます。

下段

各イベントの動作スイッチ、オプションを決めます。

#### [ アラーム設定のメインと設定タイトル ]

「一日の範囲」の時間はオプション設定での「一日の開始時刻」に由来します。アラーム時刻設定時の参考データとして表示しています。

「全体の設定を有効にする」はこの1個の設定全体の有効無効スイッチです。以下にどんな設定がされていてもこれにチェックがないと設定はなされていない(無効)と判断します。

「設定番号」は現在開いているアラーム設定の通番です。1から50あります。50個設定できるということです。ユーザはこの画面でこの番号自体は変更できません。

「設定タイトル」は任意に名前をつけることができます。発動時の確認メッセージやアラームメールに表示されます。

「この日は休止にする」は休止日を指定することにより「一回休み」とします。これは設定モードで一旦決定された日にちを制限する機能を持ちます。

「今日/明日」ボタンは今日の日をセットしますが、この結果は「オプション設定」の「一日の開始時刻」の設定により影響されます。なお、[SHIFT]キーを押しながらクリックすると明日がセットされます。

#### [ 設定モード ]

「設定モード」日にちの決め方を設定モードと称しています。日にちの設定方法を決めます。以下の4個が用意されています。いずれか1つを選択して対応する日付の指定または曜日を選択します。

1. 毎日 ……特に日にちを指定しないモードで毎日同時刻にアラーム発動します。
2. 特定曜日 ……同じ曜日の同時刻にアラーム発動します。週の番号には0~5の番号が入り、第何週かを指定します。0の指定は毎週の意味になります。
3. 年月日指定の特定日 ……特定日の同時刻にアラーム発動します。カレンダーで年月日を指定できます。その

後～日単位指定は任意の日単位で繰り返しを指定します。

<例>

「0日単位」・・・指定された年月日の日1回きりです。

「1日単位」・・・指定された年月日から毎日と同じです。

「7日単位」・・・指定された年月日から毎週と同じです。

「14日単位」・・・指定された年月日から隔週と同じです。

「今日/明日」ボタンは「今日」または「明日」の日付を簡便に入力するための補助ツールです。「明日」を入力するにはキーボードから[SHIFT]キーを併用します。なおこの結果は「オプション設定」の「一日の開始時刻」の設定により影響されます。

4. 毎月特定日・・・毎月同じ日の同時刻にアラーム発動します。0日指定で月末の意味になります。

31日指定のとき月末30日の月は翌月1日となりますので注意してください。月末指定は「0日」とします。

#### [ 本鈴時刻の設定 ]

「本鈴時刻」アラームを発動する時刻を指定します。「時」は0～33までが入力できます。

「セット」ボタンは本鈴時刻をセットする補助ツールで「0分後」となっている場合は現在時刻を「本鈴時刻」の欄にセットします。分単位で1440分(24時間)後まで指定することができます。ただし単位が秒の位を無視した分単位なので最悪約1分の誤差があります。3分タイマーなどに使用するにはは誤差が大きいので注意してください。

「回数を指定する」はセットした本鈴時刻の後で定時(分)的に本鈴時刻を再設定する機能です。回数はセットした本鈴時刻を1回目とし、回の数値は2以上をセットします。これにより「時報」や「事後鈴」が可能になります。

<例> 時報

本鈴時刻を「一日の開始時刻」として「60」分毎に「24」回実行とすればよいことになります。またこのとき「予鈴の時刻設定で、「30」分前としておく」と結果として30分おきに48回の時報を鳴らすことができます。

#### [ 予鈴時刻の設定 ]

「予鈴設定を有効にする」予鈴の有効無効スイッチです。この欄にチェックがないと予鈴設定の項目は意味をなしません。

「予鈴時刻 本鈴時刻の分前」本鈴時刻を基準にしてそれより何分前という設定のやり方です。0～300までが有効範囲です。5時間前まで指定できます。

#### [ イベント ]

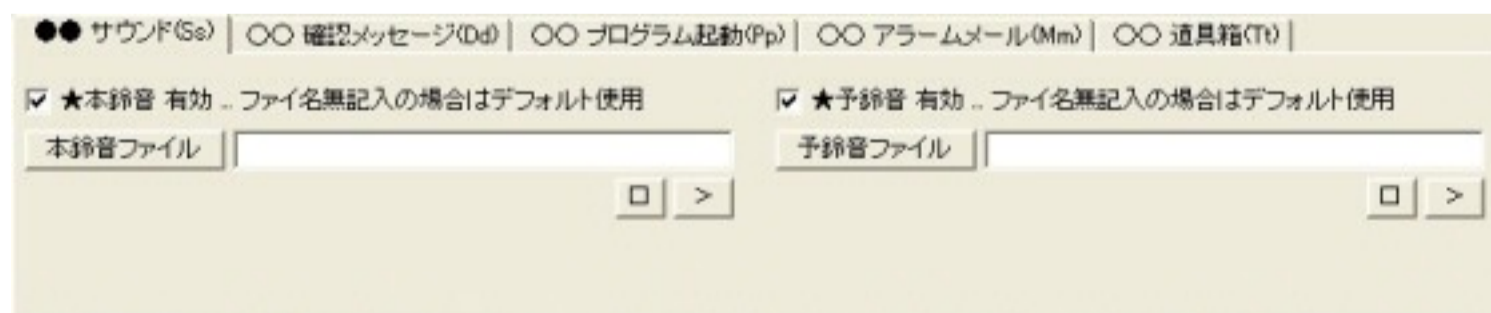
設定画面の下段には5つのタブで「サウンド」「確認メッセージ」「プログラム起動」「アラームメール」「工具箱」のイベント種がはいちされています。これらのイベントは必要に応じて自由に組み合わせることができます。

また全てのイベントは本鈴用と予鈴用に別々の組み合わせが設定できるよう左右同じにデザインされています。左側が本鈴用で右側が予鈴用です。

個々のタブタイトルの左に または の記号はそのイベントが有効にセットされているか否かをあらわすフラグになっています。 は有効で、 が無効です。2個あるのは本鈴と予鈴を意味し、左側が本鈴用で右側が予鈴用です。

予鈴の場合個々のイベントで有効にチェックが入っていても「予鈴設定を有効にする」にチェックがないと実質無効になりますので、全てのイベントの右側フラグ(予鈴のフラグ)は になります。

#### [ サウンド ]



#### 「本鈴音 有効」

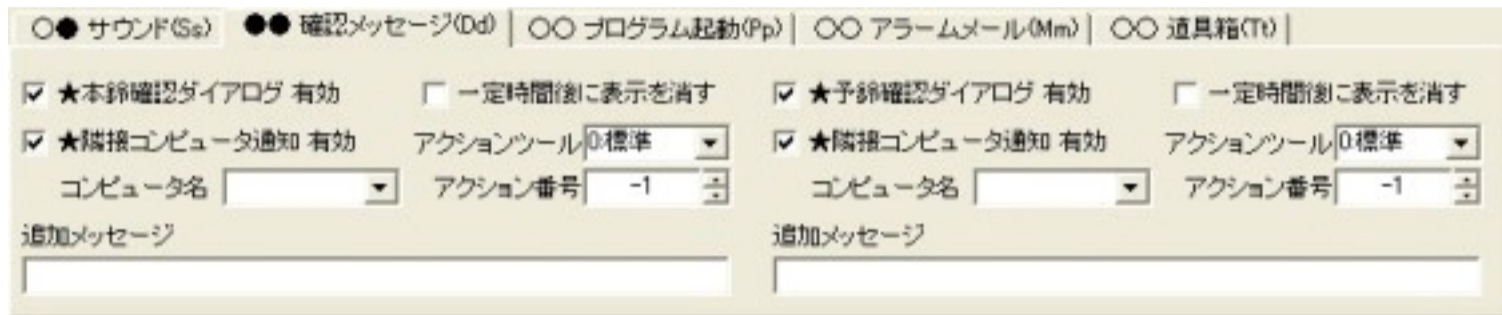
発動時刻に音を鳴らすか否かのスイッチです。チェックがあれば鳴らす。なければ鳴らさない。

### 「本 鈴 音 ファイル」

発動時に音を鳴らす場合のサウンドファイル名(WAVE/MIDIファイル)です。クリックするとファイルダイアログが開きますのでサウンドファイル(WAVE/MIDIファイル)を指定します。ドライブ名から始まるパス名が記述欄に入ります。指定の際、エクスプローラからのドラッグ&ドロップによるパス名も受け付けます。この欄を無記入で発動時に音を鳴らすとされている場合はオプションで指定されているサウンドファイルを使います。なお、記述欄に有効なサウンドファイルが指定されている場合、「>」ボタンを押すと音を確認することができます。

予鈴用の各項目も同様です。

### [ 確 認 メ ッ セ ー ジ ]



### 「確認 ダイアログ 有効」

発動時にダイアログメッセージを表示させるか否かのスイッチです。TimerAが動作しているコンピュータのデスクトップにメッセージを表示させる機能です。

### 「一定時間後に表示を消す」

ダイアログメッセージを自動的に消すか否かのスイッチです。消す場合の表示時間はオプションで一括指定です。・・・デスクトップがメッセージだらけにならないようにしたものです。

確認ダイアログには発動された日時と設定タイトルが表示されます。それ以外に追加のメッセージがあれば記述欄に指定できます。

### 「隣接 コンピュータ通知 有効」

LANで接続された隣接コンピュータにメッセージを送信するか否かのスイッチ。通知する隣接コンピュータにはAlarmAccもしくはDocLaunCSが動作していることが条件です。AlarmAccはTimerAから送られたメッセージとアクション番号でメッセージの表示とサウンド、プログラム起動などの動作を行います。DocLaunCSも同様の動作を行います。登録できるプログラムやドキュメントがAlarmAccは50個ですがDocLaunCSでユーザ登録されている場合は4000個まで登録できます。

### 「アクションツール」

AlarmAccの場合は登録ドキュメントに対して関連付けされたプログラムはWindows標準のみしかサポートしていませんので、この設定は無視されます。DocLaunCSの場合は登録ドキュメントに対する関連付けプログラムはWindows標準に加え、独立して4個までの関連付けが可能です。どの関連付けプログラムを起動させるかの選択項目です。

### 「コンピュータ名」

通知先のコンピュータ名を入力します。手入力も可能ですが、事前にコンピュータ名を登録しておくで煩雑にならず入力ミスを防げます。コンピュータ名の登録はメニューの「設定」-「アラーム通知先の設定」で行います。

### 「アクション番号」

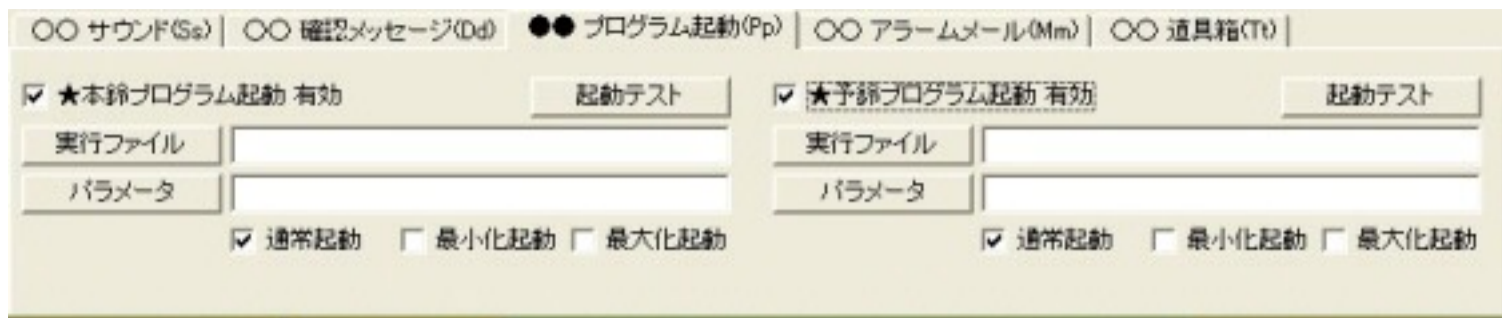
受信側コンピュータでの動作の種類を指定します。AlarmAccの場合0~49が指定可能でサウンド、プログラム起動が可能です。数字に対する動作の対応は受信側コンピュータのアラーム受信設備(AlarmAcc.exe)の設定画面で定義します。AlarmAccについては別途サポートページを参照してください。同様にDocLaunCSでユーザ登録がされている場合は0~3999が指定可能です。ただし、登録されていない番号を指定すると無視されます。また、-1を指定するとアクションなしの指定になり、隣接コンピュータにはメッセージのみが表示されます。

### 「追加メッセージ」

確認メッセージにはタイトル、時刻などが表示されますが、それとは別に表示するメッセージが必要ならここに追加します。

予鈴用の各項目も同様です。

### [ プ ロ グ ラ ム 起 動 ]



### 「プログラムの起動 有効」

発動時に指定のプログラムを起動するか否かのスイッチです。

### 「実行ファイル」

起動するプログラムパス名です。直接MP3などのデータファイルを指定することも可能です。この場合は関連付けされたプログラムが起動されデータファイルを開きます。

### 「パラメータ」

起動プログラムのスイッチ類の指定です。起動プログラムによってはデータファイルをここに指定することもできます。

### 「通常起動」「最小化起動」「最大化起動」

起動するプログラムの画面の状態を指定します。

### 「起動テスト」ボタン

指定された実行ファイルを起動します。思惑通りに起動するかをテストするときに使用します。

予鈴用の各項目も同様です。

### 登録してあるシャットダウンツールをイベントで起動する方法

TimerAにはシャットダウン機能は組み込まれていませんが、外部ツールとしてシャットダウンソフトを用意すれば可能になります (Ver1.36以降)。事前にシャットダウンソフトを用意して、[設定]-[ツール設定]でツール設定画面を開き、登録しておく必要があります。イベントでの指定方法は以下のようになります。

1. イベント[プログラム起動]を開きます。
2. 実行ファイルに次のような半角11文字を記述します。 ///shutdown
3. これで、イベント実行時にシャットダウンツールで設定したソフトが実行されます。「起動テスト」ボタンではシャットダウンの前に確認画面が表示されます。

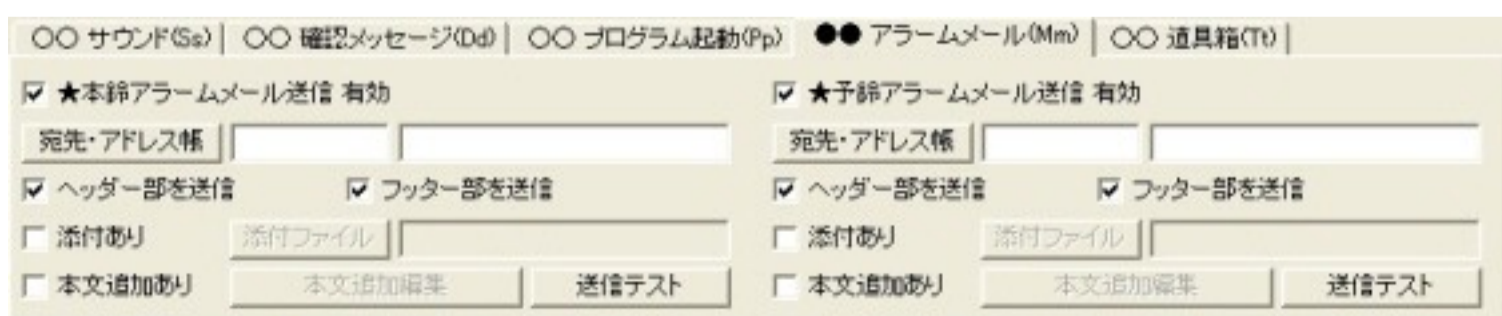
尚、イベントのパラメータ指定は無効 (ツール登録でのパラメータを使用)です。初期画面状態 (最小化起動等)は有効です

イベントの実行ファイル名に ///shutdown の記述ではなく直接シャットダウンソフトを指定した場合との違い

///shutdown の記述で行った場合はイベントがシャットダウン処理だとTimerAに認識できますのでその前に最新の設定情報 (環境設定・アラーム設定など)の保存処理が可能になります。直接実行ファイル名を指定した場合は最新の設定情報がディスクへ反映されない可能性があります。...できるだけ反映するようしていますが...

### [アラームメール]

操作の詳細は「アラーム・メールの設定」を参照してください。



### 「本鈴アラームメール送信 有効」

本鈴アラームのときにメールの送信を行うか否かのスイッチ。チェックがあれば行う なければ行わない。

#### 「宛名・アドレス帳」

クリックするとメインアドレス帳が開きます。また、「SHIFTキー」を押しながらクリックするとグループアドレス帳を開くことができます。どちらも送信先のメールアドレスを指定するためのものです。右の欄に結果として名前とメールアドレスが表示されます。またアドレス帳の追加編集もここで行うこともできます。(メニューバーのポイメールツールに「メールアドレス帳の編集」と「グループアドレス帳の編集」が用意されています)

#### 「ヘッダー部」&「フッタ部」

「ヘッダー部」は「設定タイトル」と本鈴用「追加メッセージ」を意味し、「フッタ部」は送信メールがTimerAである旨の記述と送信した日付と時刻を意味します。チェックがあるとそれぞれメール本文の先頭部と最後尾に追加します。

#### 「添付あり」

添付ファイルを送るか否かのスイッチ。チェックがあれば送る。なければ送らない。

#### 「添付ファイル」ボタン

クリックするとファイルダイアログが開き添付ファイルを指定します。右の欄にはその結果のパス名が表示されます。

#### 「本文追加あり」

任意のテキスト文をアラームメールとして追加するときチェックします。チェック無しの場合はTimerAであらかじめ決められたテキスト内容(設定タイトルと確認ダイアログの追加メッセージ、および送信日時情報)が送られます。

#### 「本文追加編集」ボタン

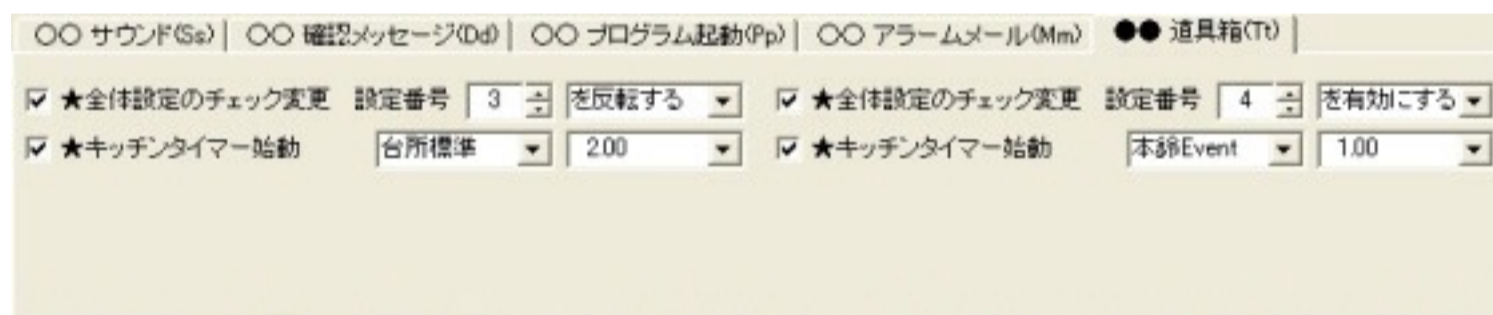
本文記述のためにテキストエディタが起動されます。テキストファイル名は「本鈴・予鈴」と「設定番号」より自動的に決まっています。終了時はそのまま上書き保存します。

#### 「送信テスト」ボタン

メール送信ツールであるポイメール(PoMail)が起動されます。ただし、メールはすぐには送信されずオペレータの指示待ちになります。この状態から実際に送信することも、送信される内容を確認だけで送信せずに終了させることもできます。

予鈴用の各項目も同様です。

#### [ 工具箱 ]



工具箱はイベントを表す言葉ではなく内部コマンド(一種のイベントとして動く)をかき集めた総称です。

#### 全体設定のチェック変更

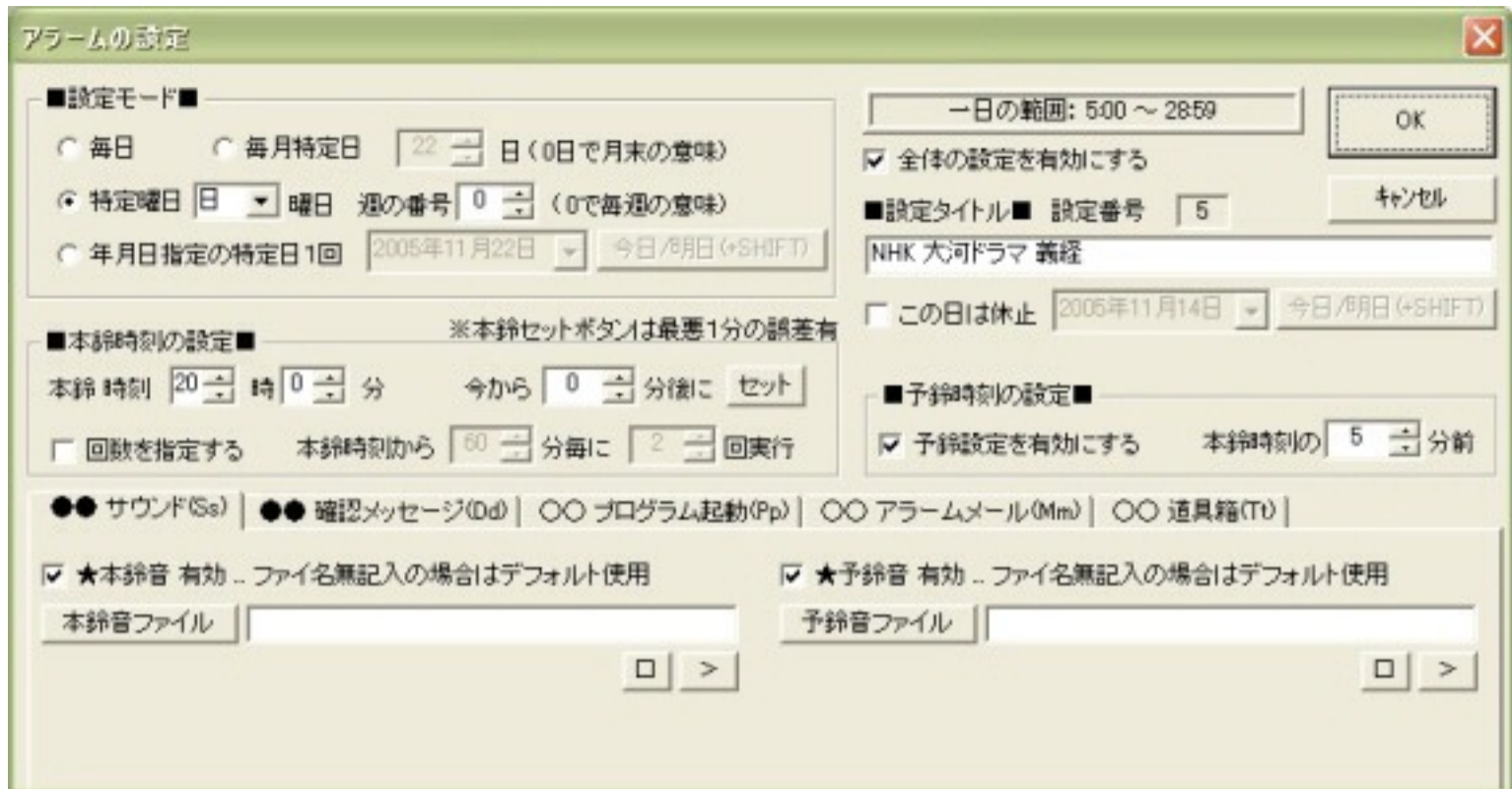
アラーム設定画面の中に「全体の設定を有効にする」というチェック欄があります。このチェック欄のON/OFFを別のアラーム設定で行うというものです。この機能によりあるアラーム設定を期間限定にすることが出来ます。例えば1つのアラーム設定で毎日7時にアラームを鳴らすようにしているが、夏休みに入ればこれを無効にするための設定を別のアラーム設定で指定することが出来ます。

「設定番号」にはコントロールしたい設定番号をセットします。その設定をどうするかを「無効にする」「有効にする」「反転させる」より選びます。

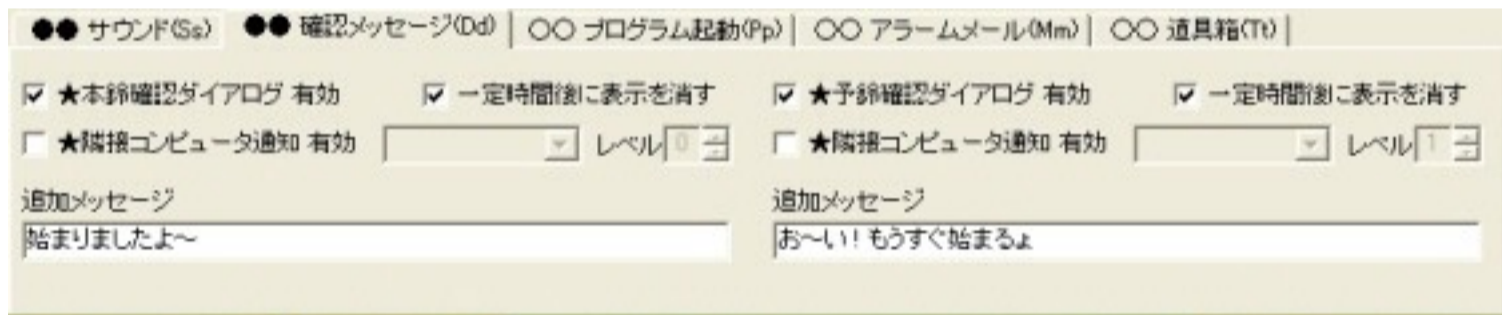
#### キッチンタイマー始動

アラームイベントでキッチンタイマーを始動することができます。指定には始動するキッチンタイマーの種類とタイマー値をセットします。指定した種類のタイマーがすでに動作しているときは無視されます。すでに動いているほうが優先されるということです。簡単な「事後鈴」として利用できます。

#### 「時刻アラームの設定」にデータを入れてみる



上図の例ですと、毎週日曜日の設定モードで、本鈴の5分前に予鈴設定が有効になっています。本鈴時刻が20:00なので予鈴時刻は19:55になります。イベントは「サウンド」と「確認メッセージ」のフラグがとなり本鈴予鈴とも有効に設定されているのがわかります。同様に「プログラム起動」と「アラームメール」のフラグがですからどちらも本鈴予鈴とも設定されていないことが確認できます。「確認メッセージ」については設定されていることはわかりますが、この画面からは詳細はわかりません。詳細は「確認メッセージ」タブをクリックします。その内容が下図です。



全部あわせると、上記のアラーム設定では、毎週日曜日の19:55になると予鈴用のサウンドが鳴出し、画面には「大河ドラマ 義経」がもうすぐ始まる旨のメッセージダイアログが表示されます。20:00時になると「大河ドラマ 義経」が始まりましたのメッセージダイアログが表示され、本鈴用のサウンドが鳴出します。本鈴、予鈴ともメッセージは一定時間が経過すると自動的に画面から消えます。

なお、サウンドの音源ファイルが指定されていないときはオプション設定で指定されている音源ファイルがデフォルトとして使用されます。

#### 本体画面の「アラーム設定一覧表」に戻ると

「時刻アラームの設定」で設定を済ませ、OKボタンで抜けると、本体画面に戻ります。このとき下右図のような「アラーム設定一覧表」がみえるはずですが、設定番号05に「NHK 大河ドラマ 義経」が登録されそれが有効になっているのがわかります。イベント(Event)の欄の英字はサウンド「Sound」、確認メッセージ「Display」、プログラム起動「Program」、アラームメール「Mail」を意味し、また大文字は本鈴、小文字は予鈴の意味です。したがって SsDd はサウンドと確認メッセージが本鈴予鈴とも有効にセットされていることを表しています。

しかしこの画面では具体的にアラームが発動する日時がわかりません。毎週日曜日と設定したはずですが…。この具体的な日時を表示するのが「アラーム実行予定表」です。このときの「アラーム実行予定表」を開くと下左図のように表示されます。1つの設定で「本鈴」「予鈴」の2個の予定が登録されます。もちろん設定画面で「予鈴設定を有効にする」にチェックが無いとこの予定にも登録されません。Noの項目で、05となっている番号は設定番号を意味します。その前にある1文字の意味は設定モードのことで、「W(Week)」は「特定曜日」、「D(Day)」は「年月日指定の特定日1回のみ」、「T(Time only)」は「毎日」、「M(Month)」は「毎月特定日/月末」をあらわしています。「\*」は設定モードにかかわらず予鈴を意味します。イベント(Event)欄はアラーム設定一覧表の表示形式と同じです。

通常はこの「アラーム実行予定表」を表示した状態で起動しておくのが便利かと思えます。

アラーム実行予定表   アラーム設定一覧表				
アラーム 設定一覧表 [●:有効 ...:無効]				
No	時刻	分毎#回	有無/Event	タイトル名
01	00:00	...	...	
02	00:00	...	...	
03	00:00	...	...	
04	00:00	...	...	
05	20:00	...	● SsDd	NHK 大河ドラマ 義経
06	00:00	...	...	
07	00:00	...	...	
08	00:00	...	...	
09	00:00	...	...	
10	00:00	...	...	
11	00:00	...	...	
12	00:00	...	...	
13	00:00	...	...	

アラーム設定一覧表

アラーム実行予定表   アラーム設定一覧表				
アラーム実行予定表 (一日の範囲 0:00-23:59 表示)				
No	実行年月日	時刻	Event	タイトル名
*05	05/11/27(日)	19:55	sd	NHK 大河ドラマ 義経
W05	05/11/27(日)	20:00	SD	NHK 大河ドラマ 義経

アラーム実行予定表

#### アラーム設定内容の変更

「アラーム実行予定表」で変更したいタイトルの行を選んでダブルクリックすると設定画面に戻ることができます。このとき「本鈴」「予鈴」の行どちらを選んででも同じ設定画面になります。同様のことが「アラーム設定一覧表」でもできます。表の性格上「アラーム実行予定表」では設定の変更しかできませんが「アラーム設定一覧表」では「有無」の項目で、有効の設定番号を選べば設定内容の変更・修正になりますが、無効の設定番号を選べば設定の追加ということになります。

#### アラーム設定の削除

アラーム設定の削除は設定画面で「このアラーム設定を有効にする」のチェックをはずすことで実現できます。この状態で「アラーム実行予定表」からは本鈴、予鈴とも消えます。「アラーム設定一覧表」から「有無」の項目が無効表示になります。タイトル以下のデータはそのまま残ります。気になるようでしたら設定タイトルの内容と本鈴の時分の数値を消してください。「アラーム設定一覧表」から特定の設定番号を消し去る方法はありません。追加することも不可能です。設定数の50個は仕様です。

#### キッチン・タイマー操作画面の説明

キッチン・タイマーの起動メニューがメニューバーに配置されています。

操作も機能もいたって単純です。メニューの「キッチンタイマ」クリック、「タイマー種類のセット」「タイマー時間のセット」「タイマースタートボタンのクリック」「カウントダウンの開始」というものです。



メニューより「キッチンタイマー」をクリックすると  
設定時間とタイマー種類を指定するダイアログ画面が表示されます



3個のタイマーを同時に動かした場合  
左から「本鈴イベントタイマー」「予鈴イベントタイマー」「台所標準タイマー」

「台所標準」「本鈴イベント」「予鈴イベント」

シンプルなキッチンタイマー(台所標準)に加え、アラーム設定50件中の1件をリザーブして、キッチンタイマーに割り当てることができます。これによりキッチンタイマーでも、アラームの4つのイベントが利用できます。デフォルトでは「アラーム設定番号1」がキッチンタイマーに割り当てられています。

割り当てる設定番号の変更は「設定」-「オプション」に用意してあります。キッチンタイマーで使用する「アラーム設定画面」では下段の「イベント設定」の部分と「設定タイトル」のみが意味をもちそれ以外は無視されます。「全体の設定を有効にする」も無用です。予鈴のイベントを使用する場合は「予鈴設定を有効にする」にチェックを入れておかないとイベントの設定ができない部分があります。

「台所標準」・・・メッセージと決まったサウンドのみのシンプルなキッチンタイマーです。

「本鈴イベント」「予鈴イベント」・・・1つの「アラーム設定」で本鈴用と予鈴用のイベントを利用したタイマーです。

3つのタイマーはそれぞれ独立したタイマーで、3個同時に動作させることも可能です。



**注意：キッチンタイマーには「本鈴」「予鈴」という本来の概念はありません。**

[メニュー設定]-[キッチンアラームの設定]でキッチンタイマーに割り当てられている「アラーム設定画面」が開きます。本鈴、もしくは予鈴のイベントの設定を設定することにより「本鈴イベント」「予鈴イベント」のタイマーはプログラム起動やメール送信が可能になります。

#### タイマー値の設定・・・登録（半角文字）

よく使うタイマー値はあらかじめ登録が可能です。登録場所は「設定」-「オプション」のオプション画面にあります。

★タイマー用時間登録書式: mm.ss(半角文字) 区切り文字: /  
1.00 / 2.00 / 3.00 / 5.00 / 10.00 / 15.00 / 30.00

上図はデフォルトで登録されているタイマー値です。実態はただのテキストです。必要に応じて追加削除を行います。全て半角文字です。数値の入力は直接指定のときと同じで、小数点(ピリオド)の左が分の単位で右が秒の単位です。/(スラッシュ)は値と値の間の区切り文字です。スラッシュの左右の半角スペースは見易さのために入れているだけで、処理的には無視されます。

登録テキストの文字数が127バイトに制限してあります。1つの登録に6バイト使用するとして約20個ほどの登録が可能です。

#### タイマー値の設定・・・直接指定（半角文字）

タイマー値はあらかじめセットして選択することも可能ですが、直接打ち込むこともできます。例えば5分30秒の場合は、5.30と打ち込みます。「エンターキー」でカウントダウンが開始されます。小数点(ピリオド)の左側が分の単位で、右側が秒の単位です。右側秒の単位は2桁を有効桁にしています。「5.3」は5分3秒(正しくは5.03と入力すべきです)。「5.30」は5分30秒。「5.123」は5分12秒(最後の3は無視)。「5.72」は5分72秒、すなわち6分12秒と解釈されます。「0.30」は30秒。「0.03」は3秒。「120.00」は2時間のことです。5分ジャストの場合は「5」ではなく「5.00」とします。指定は必ず秒(2桁)まで指定します。時の単位はありませんので分で換算して指定してください。

#### キッチン・タイマーのゼロカウントによるアラーム

指定された動作対象によって異なるアラームが選択されます。

「台所標準」・・・キッチンタイマー専用のアラーム音とメッセージダイアログが表示されます。アラーム音用のファイルはオプション画面で変更が可能です(タイマー用)。メッセージダイアログの内容は固定で、時間が過ぎると自動的に画面から消します。表示時間はオプション画面で変更できます。デフォルトでは30秒に設定されています(タイマー用)。

「本鈴イベント」「予鈴イベント」・・・キッチンタイマーにリザーブされているアラーム設定の本鈴部もしくは予鈴部のイベントが作動します。通常のアラームと同様に4つのイベントを組み合わせることも可能です。これによりキッチンタイマーでもアラームメールやMP3ファイルの再生などが可能になります。キッチンタイマーにリザーブされているアラーム設定番号はデフォルトでは1番ですが「メニューの設定 - オプション」の画面で変更することができます。

必要ならば「キッチン・アラーム用にリザーブされたアラーム設定番号」を1～50の間で任意に変更します。

#### キッチンタイマーの途中キャンセル

キッチンタイマーがカウントダウンしているときそれぞれの「カウントダウン枠」をクリックするとキッチンタイマーが途中キャンセルされます。「一時停止」の機能はありません。

## アラーム・メールの設定

本ソフトには送信メールツールとしてPioMail(ポイメール)が同梱されています。これを利用するとアラーム発生時にメールの送信が可能になります。ただし、インターネットの常時接続環境を前提としています。ダイヤルアップでご利用の場合はダイヤルアップの接続、切断等の処理は行っていませんのでご注意ください。以下その準備と設定方法を説明いたします。尚、PioMail(ポイメール)は既存のテキストファイルをメール本文とする送信専用メールツールとしてフリーソフトで公開されています。取扱説明書が以下のホームページに用意されています。必要に応じてご利用ください。

<http://homepage1.nifty.com/yaneurazikken/poimail/>

#### 準備その1 TimerAのオプション設定

1. 「設定」- 「オプション」でオプション画面を開きます。
2. 「ポイメールを使用する」にチェックをいれます。

もしポイメール(Poimail.exe)のインストール場所が「ポイメールインストールフォルダ」と異なるようでしたら「参照」ボタンを利用してPoimail.exeが存在するフォルダ名をセットしてください。デフォルトではTimerAのインストール先と同じになっていますがVer1.28よりポイメールのインストール先は別のフォルダでもよくなりました。

#### 準備その2 PoiMailのオプション設定

ここでの設定は未設定でも動作可能です。Poimail単独で動作させる場合に設定しておくことで利便性が向上します。

1. 「ポイメール&ツール」- 「ポイメールオプション」でポイメールのオプション画面を開きます。
2. 「本文ファイルフォルダ」と「添付ファイルフォルダ」はメール送信でファイル選択時に最初に開くフォルダを指定しておくものです。テキストの定型ファイルを保存してあるフォルダなどを指定しておくことで便利です。
3. 「テキストエディタ」特に愛用のエディタが無い場合はWindows標準のメモ帳(ファイル名 notepad.exe)を指定しておいて下さい。

#### 準備その3 送信元情報の設定

1. 「ポイメール&ツール」- 「送信元設定」で送信元設定画面を開き、以下の項目を記入します。
2. 「送信元氏名」任意の文字列を受け付けます。通常はご自身のお名前。その他アラームメール、TimerA、なんでもかまいません。
3. 「メールアドレス」受信者からの返信などに使われます。通常はご自身のメールアドレス。
4. 「SMTPサーバ」加盟プロバイダより提供されているメール送信用のサーバです。「メールサーバ」と記載されている場合もあります。
5. 「POP3サーバ」加盟プロバイダより提供されているメールボックスがあるサーバです。
6. 「メールログイン名」POP3サーバにアクセスするためのIDです。
7. 「メールパスワード」POP3サーバにアクセスするためのパスワードです。

本ソフトはメールを送信する前に一旦メールボックスを開くという処置(POP before SMTP)を採っています。

8. 全ての記載が終了したらOKで戻ります。

#### 準備その4 メインアドレス帳およびグループアドレス帳の作成

1. 「ポイメール&ツール」- 「メインアドレス帳の編集」でPoimailメイン・アドレス帳画面が開きます。また、「ポイメール&ツール」- 「グループアドレス帳の編集」でファイルダイアログ画面が表示され、グループアドレス帳のファイル名を指定するとPoimailグループ・アドレス帳画面が開きます。

PoiMail メイン・アドレス帳 - Address.poi

宛先に選択された氏名・アドレス(編集も可能です)

氏名 or グループ名  クリア

メールアドレス or グループアドレス帳名  参照

↑宛先・選択 登録No 0 ↓登録(書戻し)

No	氏名	メールアドレス
01		
02		
03		
04		
05		
06		
07		
08		

※新規登録  
未使用のNo(1~50)で  
氏名/メールアドレス  
を記入して「登録」する  
とリストに反映します。

※注意  
「グループ名」の登録  
は「メインアドレス帳」  
の中でのみ登録可能  
です。  
「グループアドレス帳」  
のファイル名の最初  
の文字は「@」に決め  
られています。

※ダブルクリックで選択可

保存終了  
キャンセル

2.メインアドレス帳の画面アドレス帳の編集項目は「氏名」「メールアドレス」の2項目のみです。画面上部の「氏名」「メールアドレス」欄がそれにあたります。画面下部がアドレス帳のリストになります。リストには1~50の番号がすでに振られて50人分の登録が可能です。画面中ほどにある「宛先選択」と「登録(書戻し)」ボタンは編集欄とリストの間でデータをコピーするものです。

#### アドレスの登録

- 1.編集欄で氏名/アドレスを記述します。
- 2.Noの欄に記述又はカウント上下でリストの番号の中で使用されていない番号を選びます。
- 3.「登録(書戻し)」をクリックするとその番号のリスト位置に登録されます。
- 4.二人目以降はNoの番号を変えながら登録していきます。

#### 氏名とアドレスの修正

- 1.修正したいリスト位置をマウスでクリックして反転させる。
- 2.「宛先選択」ボタンをクリックするとリストの情報が「氏名」「メールアドレス」「No」にコピーされます。
- 3.必要に応じて編集したら「登録(書戻し)」をクリックして修正が完了します。
- 4.修正したいリスト位置をマウスでクリックして反転させたところでダブルクリックするとつづいて「宛先選択」ボタンをクリックしたのと同じ結果になります。
- 5.アドレスの登録、編集が終わったら「保存終了」ボタンで戻ります

#### アラーム設定画面でのアラーム・メールの設定

##### 本鈴アラームメールの基本設定(予鈴も同様です)

メイン画面の「アラーム実行予定表」か「アラーム設定一覧表」から適当な設定番号をダブルクリックして「アラームの設定」画面を開きます。

- 1.イベントのアラームメールをクリックする。
- 2.「本鈴アラームメール送信有効」にチェックをいれる。
- 3.「宛先・アドレス帳」ボタンをクリックしてアドレス帳を表示させます。
- 4.アドレス帳のリストから送信先になるアドレスを選び「宛名・選択」ボタン、もしくはダブルクリックで「選択された氏名アドレス」欄に表示されたことを確認して「選択・書込み終了」ボタンでもどります。
- 5.「宛先・アドレス帳」ボタンの右欄に宛先氏名とメールアドレスが表示されます。以上の設定で基本的に以下の「ヘッダ部」と「フッタ部」がアラーム・メールとしてアラーム時に送信されます

- ・ヘッダ部

本鈴の場合・・・「設定タイトル [本鈴]」 + 「本鈴用確認ダイアログ追加メッセージ」  
予鈴の場合・・・「設定タイトル [予鈴]」 + 「予鈴用確認ダイアログ追加メッセージ」  
・フッタ部  
「TimerA 日時」

#### ヘッダ部送信 / フッタ部送信 (予鈴も同様です)

メール本文の中にヘッダ部およびフッタ部の記述を追加するか否かを指定します。両方のチェックをはずすと本文中でTimerAからのメールということを隠すことができます。

#### アラーム設定画面でのアラーム・メールの設定

##### 本文の追加設定 (予鈴も同様です)

ヘッダ部 とフッタ部の間に任意の本文を追加することができます。

1. 「本文追加あり」にチェックします。
2. 「本文追加編集」ボタンが有効になりますのでこれをクリック。
3. 拡張子 TXT に関連付けられたテキストエディタが起動されます。ウィンドウズのデフォルトではメモ帳が起動されます。
4. このとき本鈴アラームメールであれば「poitextm\_xxx.txt」、予鈴アラームメールであれば「poitexts\_xxx.txt」が開かれているはずですが、ここで xxx はアラームの設定番号で 001 ~ 050 の間をとります。
5. テキストエディタでメール本文を書き終えたなら上書き保存してください。以上で本文の追加は完了です。

#### アラーム設定画面でのアラーム・メールの設定

##### 添付ファイル設定 (予鈴も同様です)

添付ファイルは 1個のみしか指定できません。

1. 「添付あり」にチェックします。
2. 「添付ファイル」ボタンが有効になりますのでクリックします。
3. ファイルダイアログが開きますので添付したいファイルを選択します。
4. 「添付ファイル」ボタンの右欄に指定の添付ファイルのパス名が表示されます。以上で添付ファイルの設定は完了です。

#### アラーム設定画面でのアラーム・メールの設定

##### 送信テスト (予鈴も同様です)

アラームが発生したときどういう文面、添付ファイルが送信されるかを確認することができます。

1. 「送信テスト」をクリックすると送信ツール PoMail のメイン画面が表示されます。



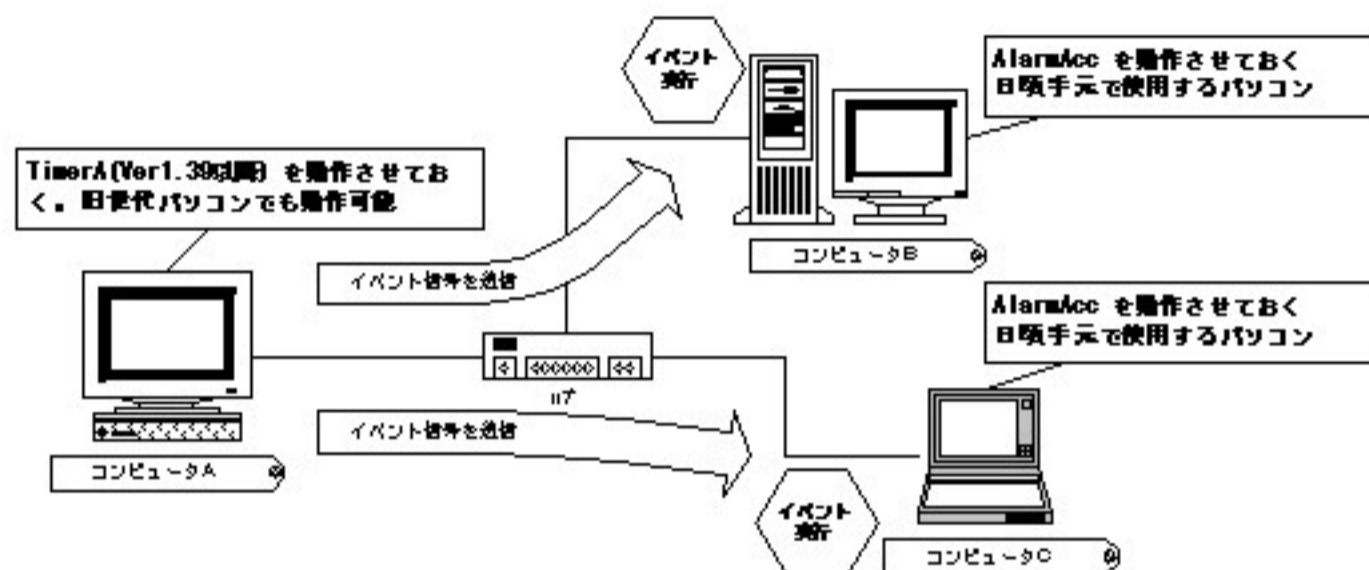
The screenshot shows the PoMail application window with the following fields and buttons:

宛先:メインアドレス帳	山田太郎	yamada@xyz.ne.jp	終了
タイトル	メシだぞー すぐ帰れ!		送信
送信テキストファイル名	E:\ProcData\timera\poi_003.txt		閲覧/編集
送信添付ファイル名			閲覧/編集

2. メール宛先、タイトルと合わせて本文となるテキストファイルおよび添付ファイルもそれぞれの「閲覧/編集」ボタンをクリックすることにより確認できます。試しに送信しようと思えば「送信」ボタンを押せば即実行されます。必要なければ終了で戻ります。

## アラーム通知先設定とアラーム受信設備

TimerA Ver1.39よりLANで接続された隣接コンピュータへアラーム信号(イベント信号)を送信する機能が追加されました。この機能を使うと別のコンピュータで動作しているTimerAのイベントを手元のコンピュータで実行させることができます。この時手元のコンピュータにはアラーム信号の受信設備であるAlarmAccを動作させておく必要があります。AlarmAcc(アラーム・エーシーシー)の詳細は別途サポートページを用意していますので、そちらをご覧ください。



LANで接続された隣接コンピュータ間で通信を行うにはまず、通路である双方のポート番号を同一のものにする必要があります。デフォルトでポート番号は「888(Ver1.45で9912に変更)」に設定されていますが、この番号は他の通信ソフトのポート番号と重複してはいけません。使ってはならない番号もあります。通常は「9912」で問題ないはずですが重複など不都合があればTimerAとAlarmAcc双方のポート番号を別のもの書き換えてください。

### TimerA での設定

メニューより「設定」-「アラーム通知先の設定」を開くと「アラーム通知先設定画面」が開きます。この画面から先ほどのポート番号の変更が可能です。登録コンピュータとはイベント信号を受信する側(AlarmAccを動作させておくコンピュータ)のコンピュータ名を予め登録しておくものです。必ずしも必要ではありませんが登録しておくことアラーム設定での通知先コンピュータ名の入力楽になります。実際のイベントでの指定は「アラーム設定」画面での「確認メッセージ」タブにあります。ここで隣接コンピュータ通知を有効にして、送信先のコンピュータ名を記述、もしくは選択します。レベル番号は送信先のAlarmAccに送られサウンドの種類などの判定に使われます。

### AlarmAcc での設定

デスクトップの通知領域(タスクトレイ)のAlarmAccアイコンをクリックしてメニューを表示して「設定」をクリックすると下右図のようなAlarmAccの「環境設定」画面が表示されます。もし必要ならAlarmAcc側のポート番号の変更はここから可能です。アクション番号0~49の動作ファイルの指定はAlarmAcc側のイベントを定義するもので音源ファイルなどのパス名を指定しておきます。音源はWAV/MIDをサポートしています。音源以外に一般のドキュメントファイル等も指定できます。この場合は拡張子に対応したアプリケーションが起動し、指定したドキュメントファイルを開きます。動作番号0と1はデフォルトで定義されていますが自由に変更可能です。

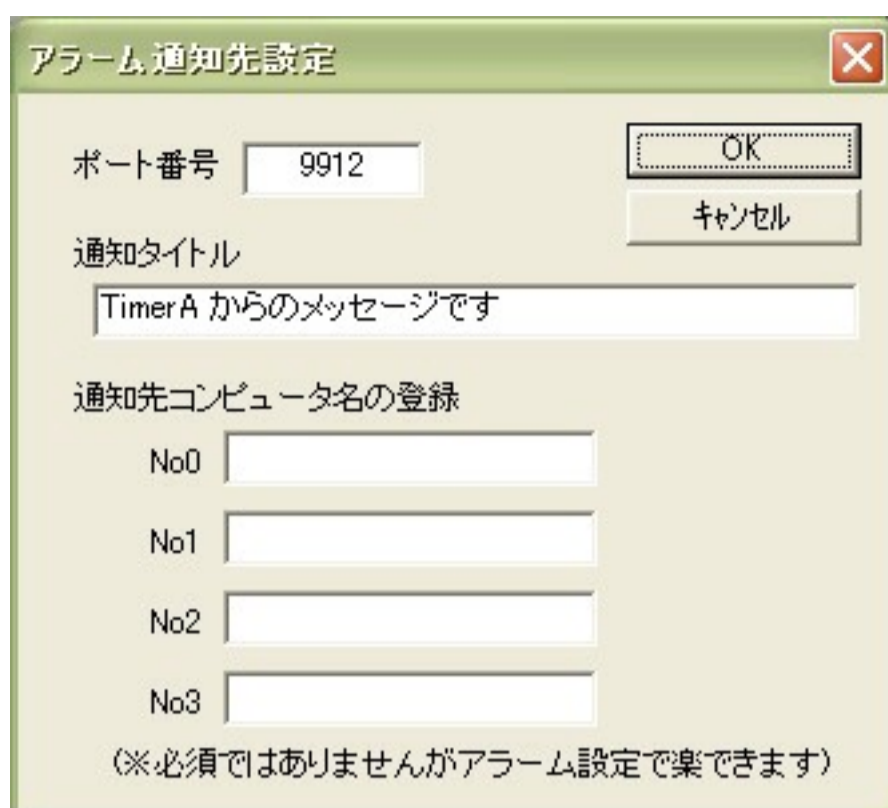
### コンピュータ名の調べ方

アラーム通知先の設定を行うにはイベント信号の送信先コンピュータ(AlarmAccを動作させているコンピュータ)の「コンピュータ名」を知る必要があります。これを調べるには次のようになります。

1. AlarmAccを動作させているイベント信号受信用のコンピュータ(パソコン)で以下の操作をします。
2. デスクトップの「マイコンピュータ」を右クリックしプロパティをクリック。
3. システムのプロパティ画面が開きますので「ネットワークID」もしくは「コンピュータ名」タブをクリック。
4. フルコンピュータ名欄に記されているものが「コンピュータ名」です。

コンピュータの説明欄ではないので注意してください。

AlarmAcc Ver1.03以降ではAlarmAccの初期画面でコンピュータ名を表示しています。



TimerA アラーム通知先設定画面



AlarmAcc 環境設定画面

### ユーザ登録の手順

本ソフトの配布形式は「シェアウェア」です。正規に使用するためにはシェアウェア代金の支払いを行い作成者(著作権者)より「ユーザ名」と「パスワード」を得る必要があります。支払方法については本体アーカイブ (timera\_nnn.lzh nnnはバージョンをあらわす番号)に収められているTimerA.txtをご覧ください。

#### 「ユーザ名」と「パスワード」を登録する

... ユーザ登録場所は、TimerAの「ヘルプ」メニューにあります。

- 1.TimerA を起動します。
- 2.メニューバーの「ヘルプ」より「ユーザ登録」を選びます。
- 3.ユーザ登録の「登録の画面」が開きます。

ユーザ登録

Copyright (C) 2004-2006 Nobuo Amamoto

ユーザ名

パスワード

閉じる

登録

※ユーザ名は全角文字3文字(半角6文字)以上です

4. ユーザ名欄の「未登録です」を消して、作成者から送付された「ユーザ名」と「パスワード」を打ち込み、「登録ボタン」をクリック。
5. ユーザ名かパスワードに入力ミスがありますとその旨のエラー表示がされます。
6. エラーがなければ「閉じる」ボタンで登録画面を抜けます。
7. 登録が完了したならTimerAの画面に登録者名が表示されます。(アラームの有効設定がない場合)
8. 以後は起動時の未登録警告ダイアログ表示もなくなり、「未登録制限事項」は解除されます。